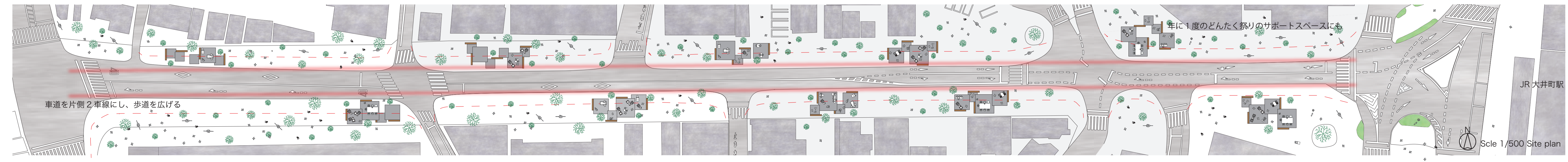
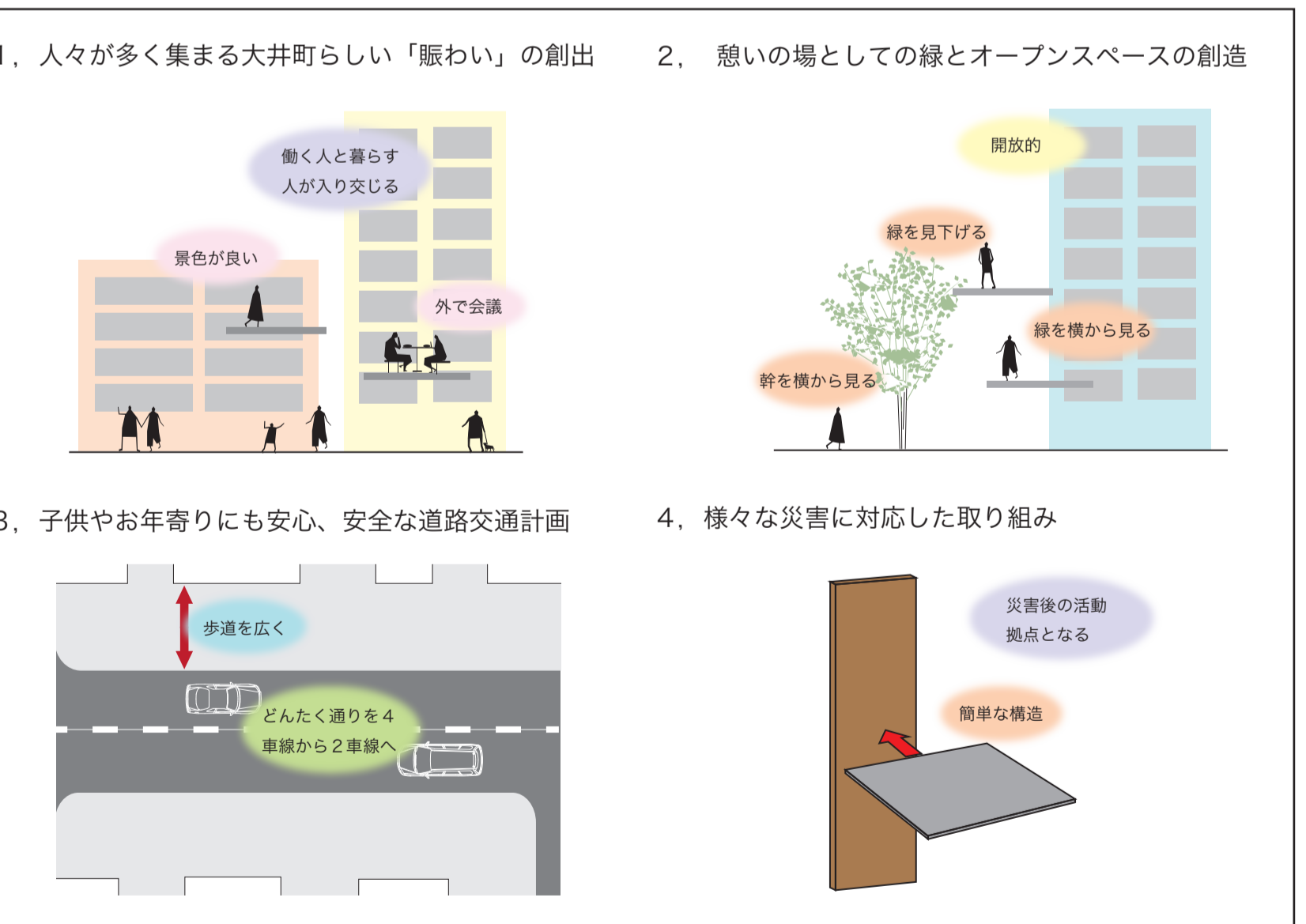
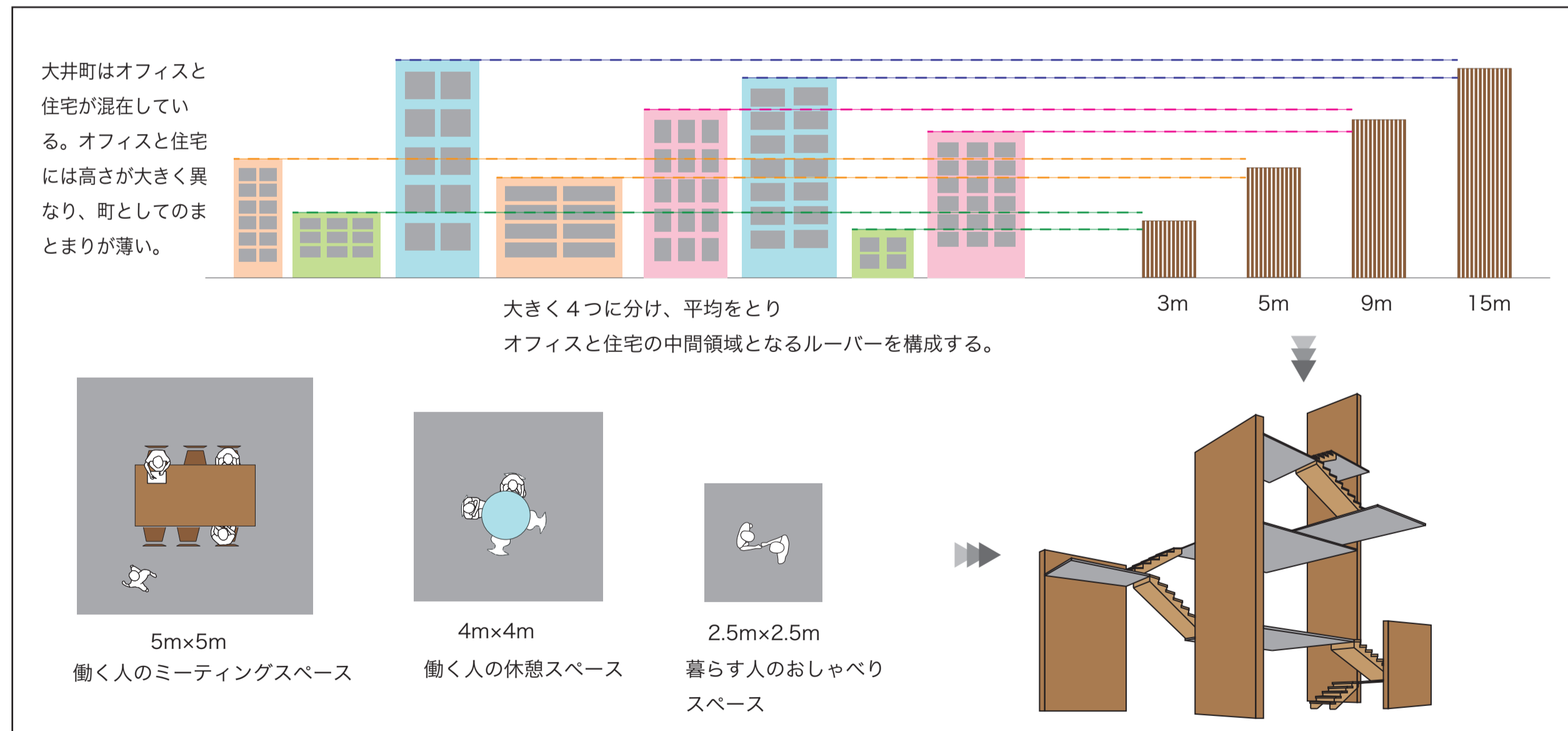
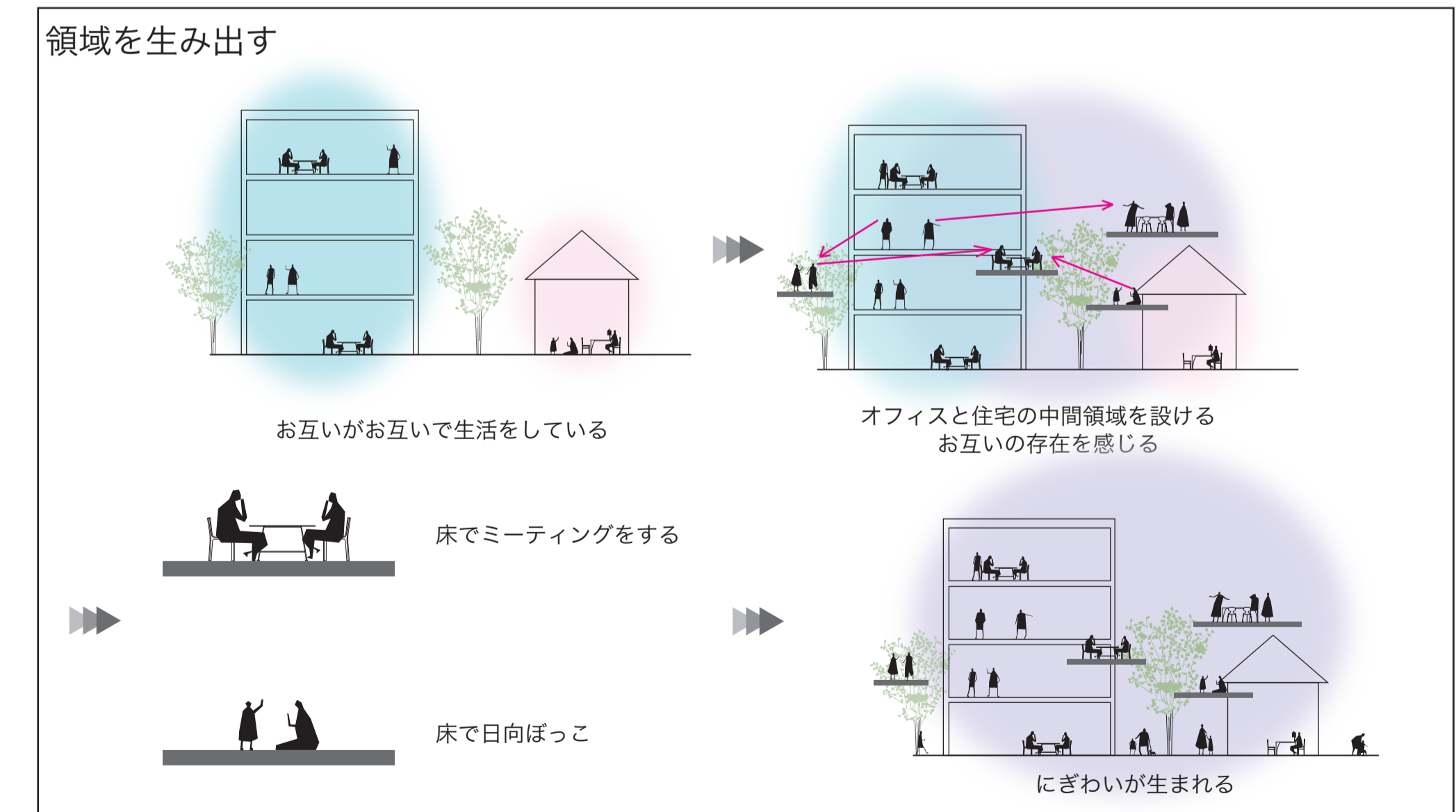




賑わいを生み出す
 ～オフィスと住宅を呼応させる床～

これは、大井町で働く人と暮らす人の共用空間の繋がりにある。ここに「家」としてのリビングと「オフィス」としての会議室としてもかまわない。その日の予定、その日の家族構成、その日の気分... いろいろ条件に合わせて、好きな場所を選択して生活できる。そんな中、働く人と暮らす人たちは日々顔を合わせ、少しずつ生活を共有する。



～人があつまる大井町駅前中央通りアイデアコンペ～

提案要旨説明書

■作品タイトル

賑わいを生みだす～オフィスと住宅を呼応させる床～

■提案要旨

1.コンセプト

今回私たちは大井町でビジネスマンと住人の共用空間の繋がりを提案する。高層と低層の中間領域を設ける。設けた中層空間で、住人は家のリビングとして使用しても構わないし、ビジネスマンがミーティングルームとして使用するのも構わない。その日の予定、その日の家族構成、その日の気分等の色々な条件に合わせて好きな場所を選択してこの場を活用してもらいたい。設けた空間で好きなように使う中で人々の生活が外へと広がる事によって、ビジネスマンと住人が時間や空間を共用する場が出来ると考えた。人々が時間や空間を共有する事により互いが存在を意識し、隔たりが無くなる。この隔りが無くなる瞬間に賑わいが生まれると考えた。

2.手法

中間層の空間はルーバーとスラブの組み合わせの構成をする。ルーバーの高さは提案対象区域の平均値4つを計算出した。スラブは大、中、小3つを用意した。3つの床に中で人々が会議をしたり、休憩やお茶をしたり、短時間での交流スペース等、選択できる空間を提案した。

※なぜこのような提案としたのかという理由や、特に工夫した点、アピールしたい点などを自由に記載してください。